

慎重に審議しました
平成29年度決算を認定

P. 2-3

私はどう考える・市はどうする？
一般質問に19名が登壇

P. 7 ~ 17

タブレット議会始まる

P. 17

議会が **グッと** 近くなる

発行

2018年
11月1日

No.53

つばめ市議会 ノートブック

平成29年度

歳入歳出決算書



#平成 29 年度 決算認定

#一般会計歳入 411 億 5,394 万 6,073 円

#他会計歳入 217 億 6,698 万 3,347 円

#2年ぶりの黒字

#タブレット議会 始まる 📱 P.17

#議員も活用中

新潟県燕市

Action 24

24名の議員が市民の代表として行動しています

平成29年度 決算



昨年9月に燕市交通公園で開催されたツバメルシェの様子

このような審議を経て 決算を認定しました

一般会計「歳入」

市税(個人市民税 過年度分)

861万6917円

問 個人市民税について、過年度分
納税義務者数が前年の229人

から282人に増えたが、その理由は、
また、滞納の原因は何か。

答 納税義務者数の変化は、修正申
告が行われたため。また、滞納

は生活困窮や市外に転出した後に滞納
になるケースがある。

市税(法人市民税)

10億9231万4800円

問 事業所数の減少はあるが補助制
度の活用で法人の収益はあると

思われるが、なぜ法人市民税の伸びに
結びつかないのか。

答 円高基調が終わり製造業を中心
に収益は上がったと考えら
れるが、人件費の上昇や減価償却に回して
いるため、利益が表に出ない状況と推
定している。

一般会計「歳出」

●総務費

総務管理費

24億3071万3139円

問 時間外勤務の最多の職員の時間
数はどれくらいなのか。

答 年間で902時間(月平均75時
間)の時間外勤務を行った職員

があり、100時間以上の月はないが、
80時間以上の月が5カ月ありました。





チャイルドシート購入費補助金

269万9100円

問 申し込みについては、どれくらいの月までできるのか、早めに終わってしまうのか、年間を通じてあるものなのか。

答 申請時期については、年間を通じて交付している。

●民生費

被災者支援事業

778万9809円

問 災害等が発生した場合の支援に係る経費は含まれているのか。

答 サポートセンターで1人雇用しており、事務に係る経費がこの事業である。災害等が発生した場合の支援については含まれていない。

生活困窮者自立支援事業

324万3625円

問 制度利用の中で、経費と住居費補助について伺う。

答 就労支援相談員1名の雇用と就労支援研修費のほか、離職により住宅を失う恐れのある1名の方に支給回数上限枠いっぱいの3万円×3回、合計9万円の補助を行った。

要保護児童対策事業

1060万3531円

問 虐待等の件数が減少しているが、どのような取り組みを行ったのか。

答 家庭児童相談嘱託員を1名増員し、支援体制の充実を図ったことにより、虐待などが減少したものと考えている。

●消防費

緊急時FMラジオ放送利用事業

308万5714円

問 汎用FMラジオの頒布数と事業開始からの頒布数について。



答 平成29年度は566台（524世帯）、事業開始からは5330台（4625世帯）、その他に要保護者等へ無償配布が2440台（2149世帯）となっている。

●農林水産業費

農商工連携ビジネス創出支援事業

144万1000円

問 補助を行った3件の連携事業について、成果をどう捉えるか。

答 とうもろこしプリンは季節限定だが、本町きゅうりの味噌漬けと、燕市産酒米を使用した日本酒は通年で販売している。燕市内の事業者の連携により、農産物の新たな付加価値還流の仕組みができたと考えている。

●商工費

地域資源活用活性化事業

783万9779円

問 事業費の内訳は。

答 地域おこし協力隊として、昨年4月より首都圏から燕市へ移住し、産業観光の推進・国土地域の活性化など、観光振興に携わる2名分の人件費と活動費及び家賃補助である。

●土木費

空き家等対策推進事業

647万8251円

問 空き家数と事業内容結果を伺う。

答 燕市全体での空き家は平成30年4月現在、おおむね590棟。空き家・空き地活用バンク登録数は121件、「空き家・空き地合算」契約成立数は52件、空き家対策助成金を活用しての解体は7件、改修は2件だった。他に実態調査のために、建築士による家屋調査を122棟行った。



●教育費

学校図書館充実事業

1850万4196円

問 取り組み内容と事業成果を伺いたい。

答 計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境を整備している。文科省の定める「学校図書館図書標準」の充足率は小学校で95%、中学校で86%となった。



で議案を審査

すべて可決すべきものと決定

総務文教常任委員会

「1項目を審査」

平成30年度燕市一般会計補正予算（第7号）

問 体育施設管理運営費の修繕料の補正について、市民プール等の修繕が必要になった原因は何か。

答 プールサイドの補修、排水ポンプ、男子トイレの故障などによるもの。この市民プールのほかに、一般に開放している分水プール、また、今年度予定している吉田ゲートボール場の修繕など、いずれも緊急を要するものであるが、要望に沿いながら計画的に行っていきたい。

問 総務管理費の町内関係費における自治会集会所の建設費補助金算定基準について伺う。

答 補助対象経費の30%に当たる額を補正額とする。

問 中学校費の部活動外部人材活用事業の減額について、今後、どのような計画で事業の充実を図っていくのか。

答 来年、市のガイドラインを早期に策定、公表させていただき、その後、児童生徒、保護者、指導者の皆さんと合意形成を図りながら、新年度から指導員を配置していきたい。

市民厚生常任委員会

「6項目を審査」

燕市税条例等の一部改正について

問 人格を持たない社団の電子申告について伺う。

答 人格を持たない社団とは、例えばPTAなどの法人登記をしていない社団、財団などで、仮に事業で収益が出たとしても電子申告の義務化を適用しないものである。

平成30年度燕市一般会計補正予算（第7号）

問 介護基盤緊急整備臨時特例補助金返還金の経過について。また、屋内ゲートボール場改修事業費補助金の市の負担について伺う。



屋内ゲートボール場「すばーく燕」

答 介護基盤緊急整備臨時特例補助金返還金は、吉田福祉会が運営していた高齢者のグループホームひのくち事業廃止に伴い、過去にスプリングラーの整備に助成を受けていたための償還未了分、これは8年償還で残2年分があるための計上である。屋内ゲートボール場「すばーく燕」の改修事業総額見込みはおよそ5000万円くらいである。この度、日本財団から3000万円の助成の内示があり、市は1500万円を負担し残りは社会福祉協議会で負担してもらう計画である。

平成30年度燕市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

問 国庫支出金等の返還金について伺う。

答 これは、対象となる医療給付費の32%相当が国から交付されるもので、当該年度は概算で交付を受け、翌年度に精算が発生する。国の平成29年度予算が、平成27年度から発生した高額薬剤の影響が続く見込みにより算定されたことで、平成29年度の交付が過大となり、結果的に、返還金が増加することとなった。

「その他」

- ・燕市有料駐車場条例の一部改正について
- ・平成30年度燕市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・平成30年度燕市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）





常任委員会

産業建設常任委員会

「3項目を審査」

燕・弥彦総合事務組合の共同処理する事務の変更及び燕・弥彦総合事務組合規約の変更について

問 統合の内容及び今後のスケジュールについて伺う。

答 現燕庁舎で水道事業の経営を行う。職員数については、燕市の水道局職員23名、弥彦村の企業職員2名の25名を予定し業務量に応じて調整される。今議決後両市村長による協議、県への許可申請という段取りで進め、組合の条例に水道事業に係る条例規則を制定する。交付金の活用が1年前倒しで見込めるため経営だけに統合し、平成32年4月1日に事業統合する。

平成30年度燕市一般会計補正予算(第7号)

問 中小企業金融対策費の補正の内容及び融資の利用増について伺う。

答 制度融資の金利引き下げや信用保証料の制度拡充により利用が増えている。直近3力年の平均増加率から補給の年度末の見込みを積算し、当初予算額との差額を補正増している。平成30年4月から7月までに新規に融資を受けた小規模事業者が16件で、内訳としては製造業10件、

建設業3件、小売業・卸売業・サービス業が各1件である。融資の内容としては、7割強が運転資金で、市内の中小零細企業の活動が活発になってきていると捉えている。

問 道路維持費及び消雪施設整備事業の工事内容について伺う。

答 舗装修繕については、当初予算と合わせて地元からの要望に対しては52%ほど要望を満たしている。防犯灯のLED関係についても約52%要望を満たしている。いずれも切実な要望であることは十分理解しており、効率的な事業費執行に努めて、少しでも地元の要望に応えられるようにしたい。道路照明の修繕40灯については、交差点照明などの球切れや安



道路舗装修繕工事

定器の関係の修繕であり、防犯灯についても断線やボールの損傷による修繕である。消雪施設工事については、井戸が3カ所、消雪の散水管の延長が921.5mである。

問 県営住宅管理費の工事費について、火災のあった県営住宅の解体時期や居住者の移動希望、保険金の対象について伺う。

答 議決後入札を行い、11月頃から解体工事を考えている。また、居住者の希望は十分把握した上で対応している。保険金については、今回は6戸中4戸が対象になっている。

問 経営基盤強化促進対策事業について、農家の経営安定について伺う。

答 組織化・法人化を進めていくことが1つの方向であると考えている。目安となるモデル経営指標についても作成している。

「その他」

・平成30年度燕市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

9月定例会の議決結果

◎は全会一致、○は賛成多数、△は継続審査、×は否決

網かけ()は、賛否が分かれた議案等です。
賛成数・反対数、議員の賛否内訳は下の表を
ご覧ください。過去の賛否内訳も議会ホーム
ページから見るすることができます。



番 号	件 名	審議 結果	ページ	番 号	件 名	審議 結果	ページ
専決 処分	7 専決処分の報告について (平成30年度燕市一般会計補正予算(第5号))	◎		80	一般会計補正予算(第6号)	◎	
	8 専決処分の報告について (燕市立幼稚園条例の一部改正)	◎		84	一般会計補正予算(第7号)	◎	P.4-5
平成 29 年度 決算	1 一般会計歳入歳出決算の認定について	○	P.2-3	85	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	◎	P.4
	2 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○		86	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	◎	
	3 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○		87	介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	◎	
	4 介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○		88	公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	◎	
	5 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎		79	燕市ふるさと燕応援基金条例の制定について	◎	
	6 土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	◎		82	燕市税条例等の一部改正について	◎	P.4
	7 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	◎		83	燕市有料駐車場条例の一部改正について	◎	
				条 例	81 燕・弥彦総合事務組合の共同処理する事務の変更 及び燕・弥彦総合事務組合規約の変更について	◎	P.5
				そ の 他	1 「学費と教育条件の公私間格差は正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願	◎	
				請 願	2 学費と教育条件の公私間格差は正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書	◎	
				発 議	3 燕市議会委員会条例の一部改正について	◎	

各議員の賛否

賛否が分かれた上表の網かけ()の議案等について、議員別に賛否を公表します。
※○は賛成、●は反対、欠は欠席、棄は棄権。なお議長(中山眞二)は採決には加わらない。

議案番号等		議決結果	合 計			輝翔会							大河の会				市民クラブ			日本共産党			公明党		スワロークラブ			無所属	
			賛成	反対	棄権	堀勝重	吉田勝利	小林由明	中山眞二	山崎雅男	中島清一	大原伊一	山本知克	白井文雄	丸山吉朗	齋藤信行	柳川隆	藤井秀人	渡邊広宣	宮路敏裕	長井由喜雄	土田昇	樋浦恵美	渡邊雄三	山崎光男	埴豊	大岩勉	タナカ・キン	田辺博
決算	1	可決	20	3	0	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	2	可決	20	3	0	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	3	可決	20	3	0	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	4	可決	20	3	0	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○

議会日誌

主な動きをお知らせします

8月 6日	中越地区市議会議員研修会
8月 9日	議員協議会・水道事業更新対策特別委員会協議会・議員懇談会
8月22日	新潟県市議会議長会秋季定期総会
8月28日	新潟県市議会議長会「議員研修会」
9月 3日	議会運営委員会
9月 5日	全員協議会・議員協議会
9月 6日	議会報等特別委員会
本 会 議	9月12日(初日)・13日(2日目)・14日(3日目)・18日(4日目)・28日(最終日)
常任委員会	9月19日 総務文教・総務文教協議会 20日 市民厚生 21日 産業建設
決算審査特別委員会	9月25日(1日目)・9月26日(2日目)
9月26日	全員協議会
9月28日	議会運営委員会
10月11日	議会報等特別委員会
10月28日	燕市議会議員一般選挙

視察の受け入れ

8月 1日	大分県中津市議会「総務企画委員会」
8月28日	栃木県矢板市議会
10月 3日	大分県佐伯市議会「彩輝会・公明党」
10月 4日	群馬県玉村町議会「総務経済常任委員会」
10月 5日	埼玉県川越市議会「文化教育常任委員会」
10月 9日	福岡県筑紫野市議会「文教福祉常任委員会」
10月10日	東京都あきる野市議会「明るい未来を創る会」
	群馬県前橋市議会「市民フォーラム」
	埼玉県坂戸市議会
10月16日	宮崎県宮崎市議会「新庁舎あり方検討特別委員会」
10月17日	神奈川県相模原市議会「民生委員会」
10月23日	栃木県下野市議会「総務常任委員会」
10月24日	埼玉県吉見町議会「総務建設常任委員会」



一般質問

19名の
議員が
聞いた！



9月議会は19名の議員が質問に立ちました。

全質問項目は下記のとおりです。(マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています)

本文は、質問した議員本人が要約して執筆したものです

P.8 大原伊一 議員
(輝翔会)

No.1

1. 高校卒業までの子ども医療費助成について
2. 公共施設の利用者負担金について
3. 大転換を迎えた農業情勢について

P.8 山本知克 議員
(大河の会)

No.2

1. 社会保障の相談について
2. 産業と観光支援
3. ふるさと納税・お礼の品とクラウドファンディングについて

P.9 堀 勝重 議員
(輝翔会)

No.3

1. 子育て支援の充実について

P.9 白井丈雄 議員
(大河の会)

No.4

1. 農林行政について
2. 教育行政について
3. 水道行政について

P.10 柳川 隆 議員
(市民クラブ)

No.5

1. 教育行政について
2. 市民生活行政について
3. 総務行政について

P.10 タナカ・キン 議員
(無所属)

No.6

1. サッカーにおける環境整備について
2. 小学校普通教室のエアコン設置について
3. 小学生の徒歩通学について
4. 給食アレルギー発症事故について

P.11 樋浦恵美 議員
(公明党)

No.7

1. 子どもの命と健康を守る対策について
2. がん対策について
3. 消費者被害を防ぐための取り組みについて

P.11 山崎光男 議員
(スワロークラブ)

No.8

1. 燕市の関係人口について
2. 災害に強いまちづくりについて

P.12 渡邊雄三 議員
(公明党)

No.9

1. 安全対策について
2. いじめ対策について
3. 交通公園について

P.12 山崎雅男 議員
(輝翔会)

No.10

1. 一般国道 116 号吉田バイパスの早期事業化と関連道路の整備等について
2. 一般国道 289 号燕北バイパス第一区間から第二区間延伸の今後の見通しについて
3. 医療的ケア児・者と保護者・家族支援について

P.13 土田 昇 議員
(日本共産党)

No.11

1. 柏崎刈羽原発の再稼働問題について
2. 県立吉田病院の早期建て替えについて
3. 国道 116 号吉田バイパス建設の促進について
4. 有機塩素系溶剤の排出量について
5. 体育施設の指定管理について

P.13 埴 豊 議員
(スワロークラブ)

No.12

1. 人口減少社会を迎えて人口減少が燕市に与える影響について
2. 産業問題について
3. いじめ問題について

P.14 小林由明 議員
(輝翔会)

No.13

1. 平和教育と主権者教育について
2. 公園について

P.14 齋藤信行 議員
(大河の会)

No.14

1. 部活動の方針について
2. いじめ対策について
3. 成人式について
4. 花火大会について

P.15 長井由喜雄 議員
(日本共産党)

No.15

1. 安心・安全で質の高い幼児施設および学校施設について
2. 猛暑対策について
3. 子どもの医療費助成を高校卒業まで拡大を
4. 国民健康保険税の負担軽減について

P.15 藤井秀人 議員
(市民クラブ)

No.16

1. 災害対応について

P.16 宮路敏裕 議員
(日本共産党)

No.17

1. 地域の公民館の改修・整備について
2. 燕労災病院の跡地利用について
3. 高齢化社会において公共交通のあり方について
4. 格差と貧困をどう抑えるかにについて

P.16 吉田勝利 議員
(輝翔会)

No.18

1. 燕市の産業について

P.17 大岩 勉 議員
(スワロークラブ)

No.19

1. 市長の政治姿勢について
2. 政党機関紙「しんぶん赤旗」の庁舎内での購読勧誘・配達・集金について
3. 学校教育について
4. 防災意識を高める町づくりにについて



子どもの医療費 高校卒業まで充実

問 29年度の出生数が500人を切った厳しい現実を捉え、子どもの医療費を高校卒業まで拡充する必要がある。

答 他市町村の状況、子どもの数の減少傾向などを踏まえ、各種事業見直しによる財源確保も視野に入れ、新年度から高校卒業まで拡充する方向で検討している。

問 公の施設の受益者負担見直しを、せめて光熱費くらい負担していただくべきではないのか。

答 市内施設の施設使用料金は、合併後見直しがされておらず、統一的でない。

減免措置などを統一することで利用者間の公平性が確保されるとともに、近隣市町村との大幅な金額の差が生じないようバランスをとった。

問 大転換を迎えた農業情勢と今年産の作付状況について。

答 県内の主食用米作付けは、7.1%増加。国内では、作付け増加が6県・減少傾向が7県であるが、全体としては増加傾向である。

本市では、来年度以降も作付け計画野帳の提出を求め、需要に応じた



子どもの医療費助成高校卒業まで拡充を



大原伊一 (輝翔会)



米生産を推進していきたい。業務用品種の導入に水稲業務用多収性品種作付推進補助金を実施しており、導入を推進していきたい。

問 米穀検査の見直し廃止の方向性について。

答 流通や消費者ニーズに即した合理的なものに見直す方向性が示されている。



QRコードカラ・ギンゴトノ・イッパンシツモンノ・エイゾウガ・ミラレマス

もう一つの介護、 こんな相談もある

問 進む少子化の中で介護を分担する人がいない。仕事との両立が難しく「介護離職」やその他の要因で職を失う人も少なくない。収入の面で親の年金や資産に頼る現実も聞かれる中で、入所や死別などを機に再就職を望む声も聞かれるが、年齢やさまざまな要因から難しい、対応や課題を伺う。

答 ハローワークでの求職活動が優先されるが、一般的に職に就いてない期間が長いほど難しくなるが、その把握が課題だ。

また、将来の生活に不安を抱えるようであれば、社会保障事業の中から「セーフティネット」とも呼ばれる生活困窮者自立支援制度の利用対象となり、専門職と連携を取りながら求職活動が可能になる。今後の周知活動に努めたい。

問 社会保障には各種の支援制度があり、その中で適切な制度を選択し申請いただくには、「周知とスムーズな対応」が必要だが、現状を伺う。

答 相談の多い高齢者や障がい者の相談には、福祉相談窓口を

設け関係者と共に連携し、速やかな対応に当たっている。

また、社会保障は範囲も広く、「知らない人の知らない」を埋めるためにも、今後部内で広報を含め周知活動を検討していく。



山本知克 (大河の会)



再就職は、さまざまな問題が...



子ども医療費助成事業の拡充について



問

子ども医療費助成制度は、ここ数年で県内他市が概ね高校卒業までと拡充してきている状況のようではありますが、当市において、充実した子育て環境を考えるならば、18歳までの子ども医療費助成度の拡充を実施すべきでないかと思いますが伺います。

答

少子化対策において、医療費助成の拡充は、子育て世代の経済的負担の軽減を図る上で有効な施策であると考えております。各種事業の見直しによる財源確保も視野に入れながら、子ども医療費助成を新年度から高校卒業まで拡充する方向で検討してまいりたい。

問

昨年の12月議会において、児童クラブにおける食物アレルギー対応の体制の構築が必要ではないかとの質問をいたしました。答弁では食物アレルギー対応マニュアルを、来年の夏ごろをめどに策定したいとのことでありました。マニュアル策定の進捗状況について伺います。

答

若干遅れておりますが、食物アレルギーを持つ児童の保護



安心して子育てができる燕市にむけて！



堀 勝重 (輝翔会)

者の皆さんと、十分な意見交換を行いたいと考えておりますので、今年の10月末ごろに公表できればと考えております。

林道工事、中学生の職場体験、水道管整備



問

工事契約内容、復旧工法、倒木処理について。

答

梅雨の関係で6月に契約し、国土地内の4カ所で行う。ワイヤネット工法で、アンカーピンは30cmで樹脂製の。倒木は森林組合が無償で引き取った。

問

職場体験先の選定、授業への支障、作業での事故対応、職場体験の気持ちの整理は、多種多様の体験が必要では。高校への進路連携はどうか。

答

多くの職種に配慮し第3希望まで聞いた。1,2年生を対象として総合学習を利用した。教師冥利だと感じているので多忙感はない。受け入れ先での事故については保険で対応している。学んだことはレポートで、働くことの喜びや楽しさを体感している。また、校内で発表会も開催している。いろいろな職場体験は必要だ。上級校への進路目的や授業目的とはしていない。

問

整備実施は両刃の剣とならないか。ダクタイル鋳鉄管の耐震性は。黒鉛素材の健康への影響は。

答

地元企業に技術的なものにも配慮している。推進工法で、供用開始までの期間で完了させた。工期の短縮も図れる。地元にも技術の向上が図れる。事前にアンケートを取って参加意欲を聞いた。ダクタイルは設計指針に基づいており、耐震での被害は聞いていない。球状黒鉛であり炭素なので影響は出ない。溶出はしない。



白井 文雄 (大河の会)



中学生の職場体験学習



学校給食事故と有害物質濃度のことについて



問 6月15日付の文書では、4月に乳成分の記載はなかったと書いてあり、その後で以前から乳成分があつたことが判明したとある。単純に相反する表現に思えるが、どういうことか伺う。

答 事実確認が不足していたために、今回このような形でお騒がせするようになったということです。

問 市は食物アレルギー対応メニューがあつて、微量なのは除去する必要がないから担当の職員は乳成分を確認しなかったというのだが、結果アレルギー反応があつて症状が出た。この対応メニューというのには問題があるのでないか伺う。

答 国、県のメニューによると、添加物等の微量なアレルギーで反応するお子さんは弁当対応が基本。そこを超えて、これまで味彩燕では一切アレルギーのない調味料を使っていた。そのところがきちんと伝わっていなかったのを見落とした。



柳川 隆 (市民クラブ)

問 かつての高度成長時代、同時に起こったのが公害問題。これを燕に置きかえたとき、工業出荷額が増えるトリクロロエチレンの使用量が増えることが背中合わせになっていると思うが、見解を伺う。

答 総体的にはトリクロロエチレンを使う業種は、工業出荷額に占める割合で1割程度であり、即トリクロロエチレンの増加にはならない。



4月に業務を開始した燕市東部学校給食センター

サッカーの環境整備の充実を図りたい思い



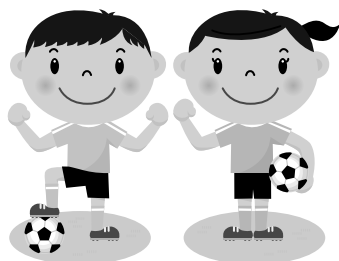
問 6月議会の最終日、追加議案として平成28年6月議会で採択された「燕市でのサッカーにおける環境整備を求める請願書」に基づく「サッカー練習場整備事業」がクラウドファンディング事業として提案された。しかし、全員協議会で強い反対意見が出ると、まだ意見が出尽くしたわけでもないのに当局が取り下げるに至ったことには問題があつたと思うが。

答 提案はあくまでも採択された請願の処理を求められたことに基づくもの。議案もサッカー場整備そのものでなく、実現を図るための課題である財源確保の手法の提案であることなどを繰り返し説明しましたが、理解してもらえない中、請願を採択した議会側と請願団体との間で疑義となつている点について確認する必要があると判断し、一旦議案を取り下げさせていただいたものである。

問 議会から早期に市内小学校等の教室にエアコンの設置を求める要望書に対し、来年の夏までの設置に向けてのスケジュールは

万全なのか。

答 エアコンの設置については、今後設計委託の手続を進めていく。設計完了後は国の補正予算の動向を見きわめながら、速やかに工事の入札を行い、来年夏をめどにエアコンが設置できるよう準備していきたい。



タナカ・キン (無所属)





子どもの命と健康を守る対策について



問 小中学校における暑さ対策、熱中症計の設置について伺う。

答 小中学校の暑さ対策としては、これまで小学校の普通教室への扇風機の配置などを行った。今夏の異常な暑さ対策として、学校には冷房設備を備えた図書室等の特別教室での授業を、これまで以上にを行うよう指導した。また、授業中であつても小まめに水分補給をすること、気温が35度以上の場合は屋外での活動はしないこと、屋外で活動する場合は必ず帽子を着用すること等の指導を徹底した。さらに今年から暑さ指数を計測することのできる熱中症計を各小学校に2台ずつ配置し、現在では児童等の健康管理に役立てているものと考えている。

問 消費者被害を未然に防止するための啓発活動について伺う。

答 燕市では、広報つばめやホームページで、消費者トラブルに対する注意情報を掲示し、市民の消費者意識の向上に努めている。また、市民課消費者生活相談窓口と長



来年度、市内小学校の普通教室にエアコンが設置されます

寿福祉課、そして地域包括支援センターが消費者被害情報の共有化を図りながら、高齢者の消費者被害の拡大防止に努めている。今後は消費生活サポーターなどとの連携も図りながら、消費生活現場での啓発活動にさらに取り組んでまいりたい。



樋浦恵美 (公明党)



ミチカナ・モンダイヨ・ギンガ・キキマス

「関係人口」は人口減少社会における打開策



問 つばめ産学協創スクエア事業は関係人口と関連がある。これまでの成果と課題、今後の方向性を伺う。

答 平成29年4月から平成30年8月末までの実績として、学生の受け入れ人数は延べ283名、学生が在籍する大学の実数は30校、受け入れた企業の実数は47社となっている。その47社のうち、インターシップを通じて1社で1人の内定者が出るなど、直接的な効果も生まれている。今後も積極的な情報発信に努めるとともに、事業の核となるコーディネート企業の充実や、受け入れ企業との交流をさらに深め、インターシップ受け入れ推進モデル地域となれるよう継続的に取り組むたい。

問 燕市も佐渡市のように準市民制度を導入できないか。

答 準市民制度を含む、他自治体の先進事例などを参考にしながら、各種事業の拡充を図り、関係人口の増加に取り組んでいきたい。



産業界が整備した宿泊・交流施設は、平成30年2月13日から利用を開始、96日間で延べ149人、実数141人の学生が宿泊利用した

問 避難所自動開錠ボックスを導入する自治体が増えている。燕市も設置を検討してはいかがか。

答 避難所自動開錠ボックスは、感震センサーが震度5弱から震度6弱相当の揺れを感知すると自動的に開錠し、一定時間後自動的に施錠するもので、県内では村上市が導入している。自動開錠ボックスの必要性を研究するとともに、他自治体の動向を注視したい。



山崎光男 (スワロークラブ)



ブロック塀の 安全対策について

問 通学路に面した危険なブロック塀等の調査をどのように進め、児童生徒の安全対策を行ったのか。

答 文部科学省の通知に基づき、学校防災マニュアルを踏まえ、通学路の状況確認を行っているところで、建築基準法施行令に適合しないブロック塀などがこれまで493件報告された。今後は通学路に面した危険なブロック塀などの具体的な対応について関係部署と連携して検討したい。

問 安全性の問題のある通学路を今後どうするのか、通学路に面した民間ブロック塀などの撤去費用を支援すべきと思うが考えを伺います。

答 市ではまず公共施設のブロック塀等の点検を行い、現在、危険個所の撤去作業を実施している。通学路に面したブロック塀などの撤去費用支援は、国の、平成31年度予算の概算要求で国土交通省や、文部科学省が支援策を予定している。その動向を注視するとともに、



道路に面したブロック塀

他の県内自治体の状況を踏まえ、どう取り組んでいくか検討している。

問 交通公園に遊びに来た園児、児童に定期的に交通ルールを教える指導員が必要と思うがいかがか。

答 指導員の常時配置はしていない。園児、児童を対象とした交通安全教室に施設を提供している。



渡邊雄三 (公明党)



イツパンシツモンノ・セイゲンジカンハ・ヒトリアタリサンジュツブンデス

国道116号吉田バイパス 早期事業化に向けて

問 吉田バイパス整備は、渋滞解消、災害に強い道路網構築の必要性、救急医療・地元産業への貢献等々と極めて重要性が高いが直近の動向と今後の取り組みについて。

答 バイパス案として、道路構造は現道拡幅部4車線+バイパス2車線案が選定された。本年度は国県市が一体となり都市計画決定を進める調査を実施している。

問 自然災害や原発が再稼働した場合の危険性や、本市はものづくり産業のまちで、平成27年工業出荷額が4413億円で工業団地が管内で19カ所ある。産業のまちとして重要幹線道路が5カ所に交通量が増大する状況の中で吉田バイパスは、片側2車線、両側4車線が基本ではないのか。

答 国の審議会で、専門的な見地から議論された結果と理解している。

問 現道拡幅部4車線+バイパス2車線が本市にとつて吉田バイパス整備が相応しいのか。



交通量の多い現在の国道116号
重要性の高いバイパス整備が求められる

答 バイパス区間の中央部付近は不可追い越し車線設定する。道路構造は都市計画決定に向け検討され幅や区域が定められ、ある程度の幅に実施になる予想。市として現道拡幅部4車線+バイパス2車線が現国道116号一定の交通が残り、現道沿い商店等を既存市街地の空洞化対策にも寄与する。



山崎雅男 (輝翔会)





柏崎刈羽原発の再稼働問題について

問

県知事選挙では柏崎刈羽原発の再稼働の問題が大きな争点になったと思うが、花角知事は、前知事が進めていた3つの検証（事故原因の検証、健康と生活への検証、安全な避難方法の検証）が示されない限り議論はしない。

検証の結果については、広く県民に情報共有するし、県民の信を問わない形で再稼働は行わないと明言されたが、市長の見解について伺う。

答

6月県議会での花角知事の答弁では、知事選で掲げた公約に沿ったものであったと理解しています。

すなわち県独自の福島第1原発事故の3つの検証を引き続き徹底的に進めていくこと、そしてその3つの検証の結果が示されない限り再稼働の議論はできないという姿勢を堅持すること、検証結果が示されたら県民に広く情報共有をするともに、県民の信を問わない形で再稼働は行わないと明言するものであります。

私は、この花角知事の考え、姿勢に対して大いに共感、賛同しております。



安全確保の原発を



土田 昇（日本共産党）



まして、高く評価するものでございす。

恐らく花角知事以外の候補者に投票された方も一様に安堵されたのではないかと考えております。

燕市の財政状況と今後の取り組み

問

燕市の平成29年度決算では、財政調整基金を8億7000万円取り崩さざる得ない状況でありました。

今後、合併特例算定替え、ピークを迎える合併特例債の償還など、燕市を取り巻く厳しい状況の下いかなる財政運営を図るのかお聞きをしたい。

答

市の財政状況は、今後も厳しさを増していきます。

3つの人口増戦略を柱とした、第2次総合計画の着実な推進、公共施設の総量の適正化、民間活力の導入、受益者負担の適正化による財務体質の改善に積極的に取り組む覚悟です。

問

日本の企業数380万社のうち99・7%が中小零細企業であります。

ここにきて、事業承継が大きな問題となっております。

中小企業庁では2025年までに2015年と比較して650万人の雇用喪失、GDPで22兆円の減少という大きな影響が出ると試算されており、全国の縮図である



燕市役所

答

燕市の取り組みについて。経営者の高齢化と後継者難は、業績悪化や廃業に直結する大問題であります。

燕市では、支援策として事業承継補助金を創設するなどして事業承継を促す努力を続けていた。



埴 豊（スワロークラブ）



平和教育、公園の活用について

問

広島平和祈念式典派遣事業について。なぜ戦争が起きるのか、どうすれば戦争が起らないのかといった客観的で現実的な学びと議論、そして行動が生まれるよう取り組むべきと思うがいかがか。

答

派遣生の報告会の後に再度社会科の学習で平和を取り上げ、報告会を思い起こさせながら授業をし、その中でなぜ戦争は起きるのかを考えさせたり、平和を守るためにやるべきことは何かを話し合わせたりしていると聞いている。また、派遣生の報告会がきっかけとなり、生徒会が中心となつて自分たちができることを考え、老人福祉センターでのボランティア活動を企画し、実践した中学校もあつたと聞いている。今後も本事業を通して平和の尊さに対する生徒の意識を高めることを大切にしながら、派遣生の報告を生かした生徒の自発的な取り組みが広がるように努めてまいりたい。

問

近所の公園は、地域価値を高め住みよい都市環境を実現する要素ともなる。これらの持つ可能性を十分に発揮させる方策を



全国には様々な公園活用の事例がある。市民主導で近所の公園の発展的活用を!

答

考え、取り組むべきではないか。公園の持つ可能性を発揮させるためには、地域住民皆様の考え方が重要であると考えている。それらを具現化するための助言などを市が担っていく、そういった流れが必要だと思っている。



小林由明 (輝翔会)



いじめの早期発見と子供の心のケアについて

問

いじめは早期発見できればいいが、分からないところで進行している場合もある。その対策をどう考えているか。いじめに遭った子どもの心のケアは相談、指導を行う先生や専門職員がどう行っているか。

答

けんか、ふざけあいでも分からないところはいじめにつながる場合もあることから、各学校では日常的な観察を通して児童生徒の人間関係の変化などを把握し、定期的にアンケートを実施したり、家庭や地域に情報提供をお願いして早期発見に努めている。

担任が発見した場合、すぐに学年主任や生徒指導主事などに報告するとともに、全教職員で情報共有し、組織的に対応するよう今後も各学校を指導していく。

いじめは深刻な人権侵害で、被害に遭った子どもの個々のケアは最優先されるべき。各学校の相談体制は担任や養護教諭などが相談に当たっている。教育委員会のスクールカウンセラーなどの専門職員も相談に応じている。



2022年度の18歳の成人式はどうなるのか

答

たい。

問

2022年度の成人式をどう考えるか。

2022年度の成人式は他市町村の動向も参考に検討したい。

今後もいじめに遭った児童生徒の意向を尊重して対応するよう指導したい。



齋藤信行 (大河の会)





必要な学校に エレベーター設置を



問 階の移動が困難な児童生徒がいる学校にエレベーター設置を求める。設置状況はどうか。

答 現在燕地区小1、中1。吉田地区は小2、中1。分水地区は小1、中1校に設置。文科省は個々のニーズに応じた対策を講ずるとい

うことが必要であるとし、燕市の場合階段昇降機のほうで対応している学校が2校ある。

問 休み時間と、昇降機は3階へ移動としたら、時間はどれくらいか。

答 休み時間は通常10分。移動は10分から15分と思う。

問 日本共産党が実施したアンケートで、子育て支援の中でも子どもの医療費助成は高校卒業ま

までにしてほしいという声強い。高校卒業までに拡大することを求める。

答 子育て世代の経済的負担の軽減を図る上で有効な施策で、高校卒業まで拡大することの必要性は十分に認識している。医療費助成制度等の事務事業



燕地区の小学校に置かれている階段昇降機

の見直しによる財源確保も視野に入れ検討している。

問 国保には子どもを含む「均等割」があり、今年度3000円増額した。高校卒業までの年齢まで付加しないことを求める。

答 4月現在で18歳以下の被保険者は1157人。子育て支援の充実是我々も同じ気持ち。全体的に二歩一歩取り組みたい。国に対してさらなる財政支援を要望したい。



長井由喜雄（日本共産党）



イツパンシツモンノ・セイゲンジカンハ・ヒトリアタリサンジュップンデス

災害対応について



問 大河津分水路改修事業で、市長らが先日、国に陳情を行ったが、計画どおり進行するのか。

答 先日、長岡市と合同で大河津分水改修事業の促進について、議長、大河津分水大改修事業促進特別委員会の正副委員長と一緒に

国土交通省と財務省に要望した。国土交通省では石井大臣に直接要望でき、大臣からは重要な事業と認識し

ており、しつかり進捗を図っていくたいとの発言をいただいた。今後も地元市として全力を挙げて事業に協力しながら、1日も早い完成を機会あることに国に要望をしたい。

問 二、三数年で、豪雨時の避難情報の頻度と種類は、ハザードマップを市民に説明する機会を

考えているか。総合防災訓練は見直しを考えているか。大雨特別警報での避難の徹底は。地区防災計画はどれくらい進んでいるか。

答 避難情報の発令は4年間で3回、土砂災害の恐れのある地域に発令した。ハザードマップについてはリニューアル版を作成し、出前講座を活用して8月末時点で13回



「洪水・土砂災害ハザードマップより」
（平成23年7月豪雨時の大河津分水路）

の講座を開設し、およそ500人が受講した。大雨特別警報は、市としては早め早めの避難の呼びかけを心がけており、毎年出水期前までに災害対応確認会議を開き、部局の対策を確認している。地区防災計画は策定には至っていない。



藤井秀人（市民クラブ）



市民の声をしっかりと受け止め県と協議を



問

燕労災病院の跡地利用について、市長は地元の声や業主体となることが判明したら地域住民、病院周辺の住民の声を尊重した具体的内容を持って、県と協議するスタンスであるとしてきたが、知事が代わった現在も同じか、伺う。

答

県議会が終了した7月下旬、新知事と面会し、両者誠意を持って協議していくことを確認した。協議に当たり病院周辺住民の声を聞くという視点を欠いてはいけなく考えるが、広域自治体である県との協議である以上、広域の視点、例えば燕市全市民にとつての有益性、或いは近隣市町村住民にとつて必要な施設としての協議が基本になると考える。

問

市民からは「病院閉鎖は不安、跡地は老後施設に、診療所に」「健康相談所、成人病や高齢者の疾病予防のトレーニングルームに」など、病院隣接の老人施設とよい影響を及ぼし合う施設を望むという声を多く聞いている。



4月から県に移管された燕労災病院と手前は特別擁護老人ホームつばめ福寿園



宮路敏裕 (日本共産党)

市民を代表する市長として、これらの声をしっかりと受け止めて協議に臨むべきではないか。

答

紹介された「市民の声」の趣旨と共通の思いを持つている市民が結構大勢であるということは把握している。そうした視点も含めて、市民を代表して、最も有益である施設を望んでいることを、県に申し上げていきたい。



イッパンシツモンハ・ギインホンニンガ・ヨウヤクシタゲンコウヨ・ケイサイシティマス

金属製品洗浄剤トリクロロエチレンによる大気汚染の件



問

先ごろ、金属製品洗浄剤のトリクロロエチレンによる大気汚染が、燕市は日本一高いとの報道があった。しかしそれがこれから何年何十年と続くものだろうか。私はこのことで次の質問をいたします。このトリクロロエチレンの年間の使用量は。

答

使用量は県のトリクロロエチレン等環境汚染防止対策要綱により届出されている報告によれば、平成28年度の県央地区で92事業所で年間750トンである（燕市内の量は公表されていない）。

問

使用後の廃棄処分の方法は。

答

廃棄処分の件では、県の燕市内54事業所の調査によれば、溶剤回収装置が稼働しているのは33事業所であった。

問

燕市の金属製品製造業者の廃業や団地等他所に移転されて生じた跡地の数は。

答

跡地件数は23件である。

問

これらの跡地でトリクロロエチレンの検出されている所

の数は。

答

トリクロロエチレンの検出されている所は3カ所で健康被害の生ずる恐れのないことと判断されている。これらのことから現在燕市の洗浄剤溶液による大気汚染はこのところ異常気象により高濃度になっているのではないのかと私は思っている。しかし汚染濃度の減少が大切なことであることは明白。



吉田勝利 (輝翔会)





県央大橋東詰からの アクセス道路整備を！



問

県央基幹病院の建設に伴う新たなアクセス道路整備、周辺地域の冠水対策など整備基本計画の進捗状況はどうか。

答

県央大橋東詰から国道8号にかけての直線道路を病院の開院までに整備するべく花角知事に熱く伝えています。

問

「しんぶん赤旗」の庁舎内での購読勧誘・配達・集金のセールス業務が議員により行われていることは市長が許可しているのか。

答

市庁舎では許可証は発行していない。執務室内での配達集金は制限すること、また強要を慎むよう副市長名で議長に申し伝えた。

問

通学路の安全対策の現状と、小学校では集団登下校されていない学校数とされない理由を伺う。

答

年度当初に教職員と集団下校し地域の危険な場所を確認しています。集団登下校してないのは3校で登下校の見守りをお願いしている。

問

緊急消防援助隊に登録しているのか、防災意識を高める



県央基幹病院建設予定地

答

町づくりをしているのか。登録しています。避難所、災害現場の様子の記録などを使い、出前講座など今後も継続します。



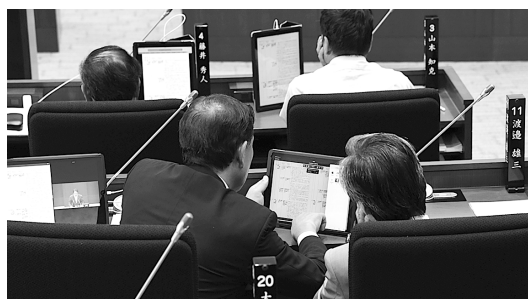
大岩 勉 (スワロークラブ)

ぎかい
コラム

燕市議会でもタブレット導入

ペーパーレス化が進む中、平成25年5月に全国で初めて神奈川県逗子市議会がタブレットを導入して以降、全国の自治体議会での取り組みが広がっています。新潟県内でも燕市を含む6市議会（胎内市・上越市・糸魚川市・柏崎市・長岡市）で導入されています。

燕市議会におけるこれまでの取り組みは、平成27年5月に議会報等特別委員会が会議録調製委託先の(株)会議録センターで初めてタブレットの操作研修を行い、その後、平成28年6月には全議員のタブレット研修を実施。また、平成29年2月に議会運営委員

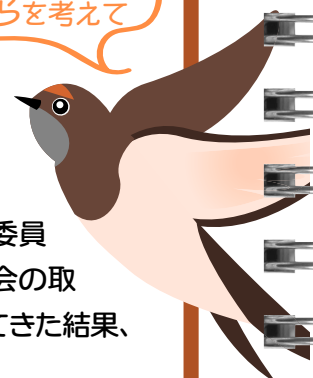


9月定例会でのタブレット使用の様子

会が茨城県守谷市議会へペーパーレス議会の取り組みを視察するなど、導入の検討を重ねてきた結果、今9月定例会から本格導入となりました。

タブレットの導入により、議会や地域における議員活動の効率化、ペーパーレス化による印刷や製本、配送などの人的コストの削減など多くのメリットがあります。これからもさらなる議会改革に努めていきます。

燕市議会の
これからを考えて



12月定例会の予定

会期：12月11日～21日

傍は傍聴できます。



日	月	火	水	木	金	土
			11/28	29	30 議会運営委員会	1
			請願・陳情 受付締切(17:00)			
2	3	4 全員協議会	5 全員協議会(予備日)	6	7	8
			傍	傍		
9	10	11 開会日 本会議 議案上程・委員会付託・ 一般質問	12 本会議	13 本会議	14 本会議	15 (休会)
			傍	傍	傍	傍
16 (休会)	17 総務文教 常任委員会	18 市民厚生 常任委員会	19 産業建設 常任委員会	20 (休会)	21 閉会日 本会議 常任委員長報告・質疑・ 討論・採決	22
		傍	傍	傍	傍	

傍聴に関することは、燕市議会のホームページをご覧ください、
議会事務局(TEL 0256-77-8341 FAX 0256-77-8343)までお問合せください。

マークのついている日は、インターネットで議会映像のライブ中継をしています。

手話通訳による傍聴の予約は、傍聴したい日の1週間前までに燕市議会事務局までどうぞ。

編集後記 編集委員から一言

●大原伊一(委員長)…2年間委員長として素晴らしい同僚議員と共にQRコード導入等の仕事が出来た事に感謝しております。

●宮路敏裕(副委員長)…議会報の作成経験は貴重な時間でした。市民の皆さんに少しでも議会を身近に感じてもらえたら幸いです。

●樋浦恵美…議会報等特別委員会の委員として、2年間編集に携わせていただきました。ありがとうございました。

●小林由明…市民参加型の議会だより編集があったら面白い、と思う今日この頃。



●藤井秀人…市民の皆様に、紙面の内容の解りやすさをモットーに、努めてまいりました。2年間ありがとうございました。

●山本知克…編集委員4年間、分かりやすさと、分かりにくさの谷間を短い文章で解消？橋渡しが出来ましたでしょうか。

●中山眞二(議長)…頑張る姿をいつも見ていました。熱心な編集会議でした。

●堀 勝重…同僚委員とともに燕市議会のことを市民の皆様方に解っていただく為、取り組んでまいりました。良い経験をさせていただき、ありがとうございました。

●山崎光男…37号から今号まで委員を務めました。文章構成等色々な事を学んだ4年間でした。更なる進歩を願っています。



議会HPは、スマートフォンやタブレット端末からご覧いただけます。



次回定例会は12月11日(火)開会予定です